

(プレ大会)東京都ユース(U-15)フットサルリーグ2010夏季大会・レポート

東京都サッカー協会フットサル委員会  
第3種部会員 豊田 幸夫

表題の件、以下の通りご報告をいたします。

1. 日時

1日目(1次ラウンド) 7月23日(金) 14:00~18:00

2日目(2次ラウンド) 8月23日(月) 14:00~18:00

2. 会場

フットサルステージ多摩

3. 参加チーム(9チーム)

東地区(3チーム) ラルゴFC・十条FC・カリオカFC足立

中地区(3チーム) FC目黒・ソレイユフットサル・ノーヴァラスペーザ

西地区(3チーム) センテナリオFC・府中アスレティックFC・フットボウズ・フットサル

4. 競技方法・競技規則

別途資料「大会要項」をご参照ください。

5. 収支

別途資料「収支決算書」をご参照下さい。

6. 課題と展望

1) 会場確保

今回は夏休みの平日開催ということで、民間のインドア施設を1時間5,250円で利用することができ、チーム参加費も「2日間で10,000円」とある程度抑えることが可能でした。

今後、通年リーグを目指していく中でどのように会場を確保していくか、が大きな課題である。

2) 審判

今回はユース(U-18)リーグのご協力によりユース審判を派遣していただいたおかげで費用面でも、ジャッジ面でも大いに助かりました。

今後も、ユースリーグとの連携により「ユース審判の育成の場」という側面においても、このユース審判派遣の制度を整備していければ意義深い取り組みになると思われれます。

3) 競技運営

今回のオフィシャルは、U-15の選手たち(中学生)が担当しました。

各チームの指導者の方々やユース(U-18)リーグの有志たちの指導・アドバイスを受けながら一生懸命オフィシャルを行う姿は非常に好感をもてました。

審判同様、U-18の選手たちが後輩のU-15選手たちのために指導・アドバイスする立場に立ったことで「自覚」が芽生えさらに「自信」となっていく様子は教育的側面としても意義深いものを感じました。

今後についても、U-15選手たちには「試合をするだけのお客さん」としてではなく、いろいろな役割を与え続けることで「リーグを創り上げていく当事者」としての意識を育てていきたいと思えます。

7. U-15リーグの目指すべき姿

1) 育成年代フットサルの日常生活化

9月・10月の「全日本ユース」、1月の「東京都ユース」以外の時期において、「平日に練習⇒週末に試合(U-15リーグ)」というサイクルをフットサルにおいても確立させてあげたい。

2) フットサルの未来を創り上げていく人材の育成

子どものときからフットサルを楽しめるクラブの育成。フットサルの環境をより良く改善していける人材の育成。フットサル審判員の育成。などなど、このリーグの存在によって「未来を創り上げていく人材」を育てていきたい。